

# 稲光会報

第31巻 40号

平成20年7月1日発行  
編集 早稲田大学稲光会  
発行者 植竹 清  
題字 滝口 宏

## 佐藤武元監督のお見舞い



佐藤武元監督が糖尿病で入院されてから早や10年。今年も5月17日小田急線相武台駅前の相武台病院に、毎月必ず見舞つて元氣付けていらつしやる堀猛(S28年)会員をはじめ8名でお見舞いに伺つた(写真)。

## 団体戦準優勝 関東学連OB会ゴルフコンペ

第15回関東学連OB会ゴルフコンペが5月21日習志野カントリークラブキングコースにて11大学50名が参加して開催された。

輝久(S36年)、慶田浩一(S38年)、三浦義雄(S39年)、植竹清(S39年)会員の7名。秋に稲光会のコンペを開催します。堀猛(S28年)会員手作的の陶芸品、昨年優勝時のビール券、今年準優勝時の商品券等々たくさん賞品を用意しておりますので、ゴルフ好きの会員はぜひご参加ください。

## 私の趣味

越茂樹 会員 (昭和27年卒)

子どもの頃から歌うのが好きだった。早稲田時代は当然フエニング以外何も考えず完全燃焼したが、中学時代は(戦時中で英米の歌は禁止。独自のモノは容認されていたが...)仲間と手当たり次第に歌った。コーラスの初歩もやった。学徒勤労活動時代だった。



お孫さん達がコンサートの応援に駆けつけました

## OBの近況報告欄

小幡恵 会員 (昭和54年卒)



入替戦を応援中の小幡会員

## 「エペの小幡」でひと花

OBの練習会である月曜会に、このころ紅一点で通っている。昭和54年卒業後、大手出版者勤務を経てフリーの編集者に。仕事はいまも続けている。それにしては卒業後30年もたつて、なぜ突然に「フエニング」を続けたい気持ちはずっと持っていました。(再開する直接のきっかけは7年前。結婚を患ったことでですね。半年の入院生活で体力ゼロ。退院後ウォーキングを始め、1年半たつてある程度動けると確

信し、剣を手にしたという。現役時代も紅一点部員。そしてエペをやったらきつと強くなる」と言われ続けた。が、当時の女子種目はフルーレのみ。だから(今回は)迷わずエペを買いましたよ。というわけで月曜会でももつぱらエペだけ。編集者として多忙な日々を送っているが、月に2〜3回は時間を作つて道場に顔を出す。今の現役つてなんか仲良しクラブやつてみたい。もつとシヤキツとせい!つて言いたくなつちやう。「相変わらず歯切れがいい。目標は滝口杯出場。一稲光会から誰も出てないんです。情けない。皆を誘つて出場するつもり。そして現役時代にならなかつたよ。この時ばかりは多感な乙女の顔に戻っていた。

歌には歌う人の全人格が籠っているといわれる。最近その意味が少し分かつてきた気がする。コーラスは若い頃は余り縁がなかったが、浦安男声合唱団を作り、今年で27年になる。学生時代グリー(※)だった人や色々な社会人等との男同士の交流が楽しい。

# 稲光会会長が交替

稲光会の会長交替です。新会長は長年幹事長、副会長を務めた北原輝久会員(昭和36年卒)。前会長竹村晃会員は名誉会長となりました。4月5日、大隈会館で開かれた今年度総会で承認されたものです。

北原会長は幹事長時代が長く、事実上稲光会を切り盛りする中心的存在でした。竹村前会長が平成14年4月、新会長に就任した際に「私は短期決戦主義。次は北原に譲つて長期的に会長をやつてもらおう」と、早くから名指ししており、7年目でそれが実現したわけですね。

竹村前会長の方針は①財政状態の安定化②現役への強力なバックアップ③幹事に若手を登用し会の活性化を図る、の3点でした。北原新会長も「竹村さんの方針は稲光会の鉄則です。無論、私もその路線を踏襲していきます」との事で、会の運営方針が大きく変わる事はありません。ただし若手の登用、特に女性幹事の活用という点で新会長の手腕発揮が期待され、3年後の稲光会65周年に向けての活性化が進みます。

## 入替戦 4年ぶり2部リーグへ転落

女子は圧勝、男子は自滅。今年度の入替戦(5月31日、国立スポーツ科学センター)は明暗を分けました。種目は共にサーブル(相手も共に明大)。女子は3人が平均して得点を重ね45-27で圧勝。男子は凡ミスを連発するまじい試合運びで39-45と明大に屈し、4年ぶりの2部リーグ転落となってしまいました。(関連記事2面)

## 北原輝久新会長の話

竹村さんがおやりになつてきた事をそっくり受け継いで行きます。平成23年(2011年)にわが部創立65周年を迎えますが、その記念事業をつつがなくやり遂げる事にとりあえずは全力を尽くします。幹事をはじめ会員諸氏のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

総会後に皆で校歌斉唱



北原輝久 新会長

竹村 晃 前会長

## 声楽家として精力的な活動を展開中

今後エネルギーが残っている限り歌うと思う。余り難しい生き方は考えていないが、好きな四字熟語は単純明快、明朗闊達、機略縦横、融通無碍だ。 ※グリー

楽曲の形式のひとつ。無伴奏の男声合唱曲。またその楽曲を演奏する男声合唱団、あるいは単に男声合唱団のことをさして「グリークラブ」「グリー」と呼ぶことがある。



# 入替戦、男子サーブル2部落ち

## 現役 試合結果

平成20年度リーグ戦は5月1日(木)～6日(火)、駒沢屋内球技場、東京農大桜ヶ丘アリーナで行われ、男女とも振わずBクラスの成績。続く入替戦に男女サーブルが出場。女子は1部を死守したものの、男子は4年ぶり2部リーグへ転落となりました。



新人ながら活躍した多田真望

「リーグ戦」  
昨年全日本優勝時のメンバー2人を擁する男子エースは優勝候補の筆頭でした。しかしその事で気負いがあり、試合運びに冷静さを欠いてしまいました。緒戦の日大戦で早々につまずく黒星スタート。続く農大、専大には連勝したものの、正念場といえる対法大戦で勝負を焦って墓穴を掘るはずの展開が目立ち、2敗目。最後の中大にも負けて2勝3敗の4位。

女子もエースではインターハイ優勝者を2人そろえ、十分に優勝を狙える陣容でしたが、フルレール4位の不振から脱しきれず、元気のない試合運びが目立ち、3勝を挙げたものの男子同様4位。総合で共にBクラスという期待はずれに終わってしまいました。



入替戦には大勢のOBが応援に  
男子は逆に凡ミスが目立つ展開。攻めて行っても早めのフライングで相手にとどかず、逆に押されてしまう。同時攻撃あるいはアタックのケースで相手のガードや剣の根元をたいてしまう不手際の連続。序盤リードしたもののモタついていく間に追いつかれ、勢いづいた明大にそのまま押し切られてしまったものです。(監督 川名宏美)

### 新人紹介

①生年月日 ②出身校 ③学部 ④入学方式 ⑤主な競技歴 ⑥抱負

<b>萩原 宏樹</b> (はぎわら ひろき) ①90年1月19日 ②国學院栃木 ③スポーツ ④JOCジュニアオリンピックエ ⑤アジア選手権で活躍したい	<b>多田 真望</b> (ただ まなみ) ①89年6月12日 ②県立大分豊府 ③スポーツ ④高校総体サーブル2位 ⑤日本代表として世界大会出場	<b>鈴木 彩夏</b> (すずき あやか) ①90年3月3日 ②県立興譲館 ③スポーツ ④一般入試 ⑤高校総体フルレール4位 ⑥日本代表を目指しています	<b>面山 結</b> (おもて やまゆい) ①89年9月13日 ②県立秋田 ③法 ④指定校推薦 ⑤西日本選手権優勝 ⑥4年間大きく変身！	<b>牛木 涼友</b> (うしき りょうすけ) ①89年4月19日 ②早大学院 ③先進理工 ④附属高校 ⑤高校総体ベスト32 ⑥目標は日本代表選手
---------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------

### 優勝カップ・トロフィ展示 ケース寄贈

昨年は全日本選手権大会男子エペ団体優勝、リーグ戦男子エペ優勝、全日本大学王座決定戦女子優勝他数々の優勝を成し遂げたが、この現役部員の功績を称え、また部員の練習の励みにするため、優勝カップやトロフィ等の陳列ケース(幅1500×高1800×奥行450mm)を道場内に設置した(写真)。稲光会会員の皆様もぜひ道場でご覧下さい。



### 小野梓賞 初受賞

フェンシング部に07年度小野梓賞および体育団体名誉賞が贈られた。これは同年全日本選手権優勝(男子エペ団体)が評価されての受賞。特に小野梓賞はオリンピック、世界選手権等での優勝者もしくは入賞者を選考の対象にしてきた早稲田大学で最も権威のある賞。最近では全日本優勝も選考範囲に入れられてきた。わが部は初の受賞。

▼自由民権運動家。明治15年、大隈重信の立憲改進黨の結成に参加。その後大隈と共に早稲田大学の前身、東京専門学校創立に尽くした。高知県出身。

### 関東学生リーグ戦

5月1日～6日、駒沢屋内球技場、東京農大(桜ヶ丘アリーナ)

男子フルール(一部)	女子フルール(一部)
結果 ●早大37-45日大 ●早大41-45専大 ○早大45-36拓大 ○早大33-45法大 ○早大45-39中大 ①法大②専大③日大④早大⑤中大⑥拓大	結果 ○早大40-41日大 ○早大45-39農大 ○早大39-36専大 ○早大35-45法大 ○早大38-45中大 ①日大②中大③日大④早大⑤専大⑥農大
男子サーブル(一部)	女子サーブル(一部)
結果 ●早大28-45日大 ●早大31-45中大 ●早大44-45法大 ●早大41-45日大 ●早大41-45専大 ④法大⑤日大⑥早大	結果 ○早大34-45日大 ○早大39-45法大 ○早大37-45日大 ○早大33-45東大 ○早大33-45専大 ①日大②日大③専大④法大⑤東大⑥早大

### 中村会員 国体監督に

08年度国体(9月、大分県)の東京都チーム少年男子部の監督に中村立雄会員(昭和43年卒)が選ばれました。これは5月に行われた東京都国体予選(少年男女)の結果、早稲田高校(少年男女)の盛田裕貴、中村竜土の2人が1、2位を占めたため。2人と、中村会員が同校コーチを務めていた頃の教え子。その実績が認められた。



められて、東京都フェンシング協会から監督に推薦されたものです。7月19日～21日に開催される関東ブロック予選会(甲府市)が初陣の場となる。

### WASEDA CLUB

こんにちは！ワセダクラブです

大会役員川名監督から優勝カップを受ける松山恭助くん

部で松山恭助が、同女子サーブルの部で今井良美がそれぞれ優勝し「次は全国大会」と夢を膨らませています。主な成績は左記の通り。

「国際大会」2月、パリで行われたマラソンフルール大会に、松山恭助が日本代表の一人として出場。95～96年生まれカテゴリーで優勝。中学生も含めた全体(325人出場)で27位と、日本人最高の成績を挙げた。

大会	男子	女子
第8回関東少年大会 (2月3日、高崎市)	中学生男子部 優勝 松山大助 小学生男子部 優勝 松山恭助 小学生女子部 3位 今井良美	女子エペ(一部) 優勝 松山大助 女子フルール(一部) 優勝 松山恭助 女子サーブル(一部) 優勝 松山恭助
第26回若葉杯 (2月17日、船橋市)	中学生男子部 3位 松山大助 小学生男子部 優勝 松山恭助 小学生女子部 3位 今井良美	女子エペ(一部) 優勝 松山大助 女子フルール(一部) 優勝 松山恭助 女子サーブル(一部) 優勝 松山恭助
第11回みちのく少年大会 (3月29日～30日、米沢市)	小学生男子部 優勝 松山恭助 小学生女子部 3位 今井良美	女子エペ(一部) 優勝 松山大助 女子フルール(一部) 優勝 松山恭助 女子サーブル(一部) 優勝 松山恭助
第25回ふなばしSpring Cup (4月13日、船橋市)	小学生男子部 優勝 松山恭助 小学生女子部 3位 今井良美	女子エペ(一部) 優勝 松山大助 女子フルール(一部) 優勝 松山恭助 女子サーブル(一部) 優勝 松山恭助
第9回東日本少年大会 (5月4日～5日、台東パーサイドS.C)	中学生男子部 3位 松山大助 小学生男子部 優勝 松山恭助 小学生女子部 7位 今井良美 小学生女子部 優勝 松山恭助	女子エペ(一部) 優勝 松山大助 女子フルール(一部) 優勝 松山恭助 女子サーブル(一部) 優勝 松山恭助
第15回東京都カデ選手権大会 (6月21日、厚生年金S.C)	男子サーブル 2位 松山大助	女子エペ(一部) 優勝 松山大助 女子フルール(一部) 優勝 松山恭助 女子サーブル(一部) 優勝 松山恭助

### 合宿へようこそ!

今夏の合宿は左記の通り実施します。初の試みとして専大、東農大、慶大との合同合宿としました。成果にご期待ください。

1. 合宿期間	08年9月2日(火)～9日(火)	3. 日程	出発日	9月2日(火) ※AM9:00バスにて移動
2. 場所	越後湯沢「SAKAEYA」 〒949-6103 新潟県南魚沼郡湯沢町岩原スキー場内 TEL)0257-87-3237 FAX)0257-87-4533	前半練習日	9月2日(火)～4日(木) ※初日はPM2:30から開始	
		中	9月5日(金)	
		後半練習日	9月6日(土)～8日(月)	
		帰京	9月9日(火) ※夕刻到着	
		4. 合宿担当	戸田 志帆(スポーツ4) 080-5530-2384	